

2024年度 活動計画

I 活動目標

- 1 看護師職能の活動を通して、公衆衛生の向上と県民の健康保持・増進に寄与する
- 2 病院看護師の役割の明確化と資質の向上を図ると共に働きやすい環境づくりを支援する
- 3 准看護師の質向上・スキルアップへの支援

II 公益目的事業

1 活動内容

- 1) 医療福祉における看護師の資質向上のための研修会等の企画・実施
- 2) 看護師の交流を通して情報交換し、看護職の活性化を図る
- 3) 准看護師への進学支援と情報の発信

2 活動計画

- 1) 定例会：年12回 准看護師活動年3回
- 2) 研修会：年1回 延定員200名、准看護師研修年2回 延定員80名

III 会員支援事業

1 活動内容

- 1) 職能集会・講演会で事業計画を説明し、看護師職能委員会Iの活動を周知する

2 活動計画

- 1) 職能集会・講演会：年1回 定員90名

公益目的事業（研修会）

項目	内容	開催日	場所	募集人数
研修会	准看護師のためのスキルアップ研修Ⅰ テーマ：「明日から活かせる認知症ケア」 講師：宍戸 ます美 氏 (一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 認知症看護特定認定看護師) 進学支援会 ○通信制学校・放送大学からの情報提供 ○通信制学校卒業生からの体験談	2024. 7. 6 (土)	神奈川県 看護協会	40名
	テーマ：「ナッジを活用した看護現場をよくするしかけ」 講師：小池 智子 氏 (慶應義塾大学看護医療学部・ 大学院健康マネジメント研究科 准教授)	2024. 10. 17 (木)	神奈川県 看護協会	200名
	准看護師のためのスキルアップ研修Ⅱ テーマ：「フィジカルアセスメント ～循環器・呼吸器編～」 講師：高野 洋 氏 (昭和大学病院 看護師長 集中ケア認定看護師)	2024. 12. 6 (金)	神奈川県 看護協会	40名

会員支援事業

項目	内容	開催日	場所	募集人数
職能集会	2023 年度事業報告 2024 年度事業計画	2024. 7. 11 (木)	神奈川県 看護協会	90 名
講演会	テーマ：最高のチームをつくろう ～チームづくりのリーダーシップ再考～ 講師：保田 江美 氏 (国立保健医療科学院 主任研究官)			

看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	最高のチームをつくろう ～チームづくりのリーダーシップ再考～		
主催	看護師職能委員会 I		
講師	保田 江美 氏（国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 主任研究官）		
開催日時	2024年7月11日（木）14:00～16:00		
目的	今時のリーダーシップを学び、多様な人材が自発的に行動できる最高のチームをつくる		
内容	講演		
場所	神奈川県看護協会第1研修室（神奈川県総合医療会館6階）		
参加対象	看護職	参加人数	94名 (会員78名・非会員16名)
まとめ・評価	<p>1. アンケート回収60名 回収率（委員を除く）72.3% 1) 会員：51名 2) 非会員：9名</p> <p>2. 職種 1) 看護師：58名 2) 助産師：0名 3) 保健師：1名 4) 准看護師：1名</p> <p>3. 研修会を知ったきっかけ 1) 看護協会からの案内チラシ：18名 2) 看護協会のホームページ：22名 3) 上司からの情報：16名 4) 友人・知人からの情報：1名 5) その他：0名</p> <p>4. 参加動機 1) 自ら進んで：40名 2) 上司の勧め：16名 3) 同僚の勧め：3名 4) ホームページを見て：1名</p> <p>5. 感想 1) 非常に良かった：27名 2) 良かった：28名 3) 普通：4名 4) やや期待はずれ：1名 5) 期待はずれ：0名</p> <p>6. アンケート内容 ・シェアードリーダーシップについて学び、自部署の強みを再確認できた。 ・講義内容・グループワーク共に、とても学びの多い研修だった。 ・久々にグループワークを通して他の病院の方と交流が持て、情報交換ができた。</p> <p>7. 評価 講師の保田氏は、看護師としての病院勤務を経て、看護基礎教育に携わり2022年度より国立保健医療科学院で主任研究官を現任している。医学書院の看護管理やマナビラボ等の著書などがあり、そこから研修に関心を持ち参加している研修生もいた。研修生は、多様な時代の中で、チームワークやリーダーシップそのものに課題を感じ、研修に参加していた。研修内容は、シェアードリーダーシップの基本的な講義と、グループワークが主であった。アンケートの結果では、91%の研修生が「良かった」と回答しており、「前向きな気持ちになり学びを現場で活かしたい」との意見が多く見られており、これらの事から、研修は効果的であったと評価する。 今回の研修は、集合形式であり、80名の定員であったが、希望者が多く定員オーバーで開催することとなった。しかしグループワークの関係上、研修会場が狭くなり、空調など研修環境面に課題が残った。今後は、研修の開催形式や参加人数に応じて、会場選定などを再検討していきたい。</p>		



看護師職能委員会 I 研修（講演会）実施報告

研修（講演会）テーマ	ナッジを活用した看護現場をよくする仕掛け ～思わず行動したくなる仕組みづくり～		
主催	看護師職能委員会 I		
講師	小池 智子 氏（慶應義塾大学看護医療学部・大学院健康マネジメント研究科 准教授）		
開催日時	2024年10月17日（木）14:00～16:00		
目的	ナッジを学んで職場を良くする仕組み作りに活かす		
内容	講演		
開催方法	Web 開催		
参加対象	看護職	参加人数	99名 (会員 97名・非会員 2名)
まとめ・評価	<p>1. アンケート回収 77名 回収率（委員を除く）87.5%</p> <p>1) 会員：75名 2) 非会員：2名</p> <p>2. 職種</p> <p>1) 看護師：74名 2) 助産師：2名 3) 保健師：1名 4) 准看護師：0名</p> <p>3. 研修会を知ったきっかけ</p> <p>1) 看護協会からの案内チラシ：35名 2) 看護協会のホームページ：31名 3) 上司からの情報：7名 4) 看護協会のLINE：2名 5) その他：2名</p> <p>4. 参加動機</p> <p>1) 自ら進んで：68名 2) 上司の勧め：5名 3) ホームページを見て：3名 4) 同僚の勧め：1名</p> <p>5. 感想</p> <p>1) 非常に良かった：49名 2) 良かった：27名 3) 普通：0名 4) やや期待はずれ：1名 5) 期待はずれ：0名</p> <p>6. アンケート内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナッジの基本的な考え方や具体的な取り組みが、とてもよく理解できた。 ・具体例が多くてわかりやすかった。現場で活用してみたいと感じた。 ・2時間の講義が短く感じた。設計まで学べるように次回アドバンスを希望する。 ・医療安全は、個人の注意力や努力を高める対策を取りがらだが、この講義を受講してアプローチの方法を変えていけると思った。 <p>7. 評価</p> <p>ナッジとは直訳すると「背中を押す」という意味がある。行動科学分野において人々が自発的に望ましい行動を選択するように促す手法である。講師の小池先生の研修会を2021年度に開催した際は大変好評であり、今回は第2弾として開催した。講義内容は、基本的な手法の学習から具体例まで幅広く、問題解決のヒントを得ることができた。アンケート結果では98.7%の研修生が「良かった」と回答しており、感想の記載内容からも看護現場の業務改善や安全などに活用できる講義内容であったと評価する。今回の研修の開催方法はWeb開催であり、約100名近い参加があった。WEB開催は参加しやすい研修方式であると評価する。また、研修生の意見の中には、具体的なナッジの設計の方法まで学びたいとの意見がみられ、次年度以降にナッジ研修の第3弾を企画する等の検討をしたい。</p>		

